

1 言語学の輪郭

1-1 一般言語学 vs. 個別言語学

☞ a. 一般言語学 general linguistics

対象とする言語を単一にとどめず、多くの言語が示す言語事実を研究。

自然言語 natural languages の共通性、多様性。

b. 個別言語学 individual linguistics

個々の言語事実のみを研究。英語学、日本語学、中国語学等。

1-2 理論言語学 vs. 記述言語学

☞ a. 理論言語学 theoretical linguistics

言語事実を説明・分析

b. 記述言語学 descriptive linguistics

言語事実の記述

1-3 音韻論・形態論・統語論・意味論・語用論

a. 音声学 phonetics

言語音の物理的見地からの研究。

b. 音韻論 phonology

音韻現象の分析・説明。

c. 形態論 morphology

語 word の構造の研究。接辞 affix、複合語 compound word、合成語 complex word などの研究。

d. 統語論 syntax

狭義の文法を指す。文・節 clause・句 phrase の構造の研究。

e. 意味論 semantics

意味 meaning を対象に、語や文の意味の生成について研究。

f. 語用論 pragmatics

表現上・文法上の問題点を哲学・論理学・心理学・社会学等の関連で研究。「文法を越えた文法」、「行間を読む文法」。

否定表現のなりたち、隠喩 metaphor、言語行為 speech act 等。

1-4 対照言語学 vs. 比較言語学

☞ a. 対照言語学 comparative/contrastive linguistics

系統的な親疎関係に関わらず、任意の複数の言語を対照研究。日英、日中、日韓対照研究など。普遍文法 universal grammar の研究、言語教育、機械翻訳等への貢献

b. 比較言語学 comparative linguistics

同一言語族に属する言語間の比較。歴史言語学。言語間の親疎関係。

(1) ゲルマン語派 Germanic : 英語・ドイツ語・オランダ語・スウェーデン語・ノルウェー語・デンマーク語

(2) シナ・チベット語族 : 中国語・タイ語・ビルマ語・チベット語

(3) 日本語 : 系統不明 韓国語との類型論 typology 上の類似、しかし親疎関係は立証されず。

→e.g. 共に膠着語 agglutinating language という形態的特性

(4) アラビア語 : セム語族 Semitic

2. 言語の分類：系統的分類と言語類型論

2.1 系統的分類 (Genealogical Classification) :

比較言語学の手法（主に言語間の基本語彙にみられる音韻対応）によって分類された言語間の親疎関係

A 英語：インドヨーロッパ語族ゲルマン語派 西ゲルマン語
（ドイツ語、オランダ語と最も緊密な系統関係）

B 中国語：シナ・チベット族（チベット語、ミゾ語(インド)、ビルマ語と親戚関係）

C 日本語：不明 孤立言語(language isolate)、他にもバスク語(フランス、スペイン)、朝鮮語、アイヌ語が孤立言語。

2.2 類型的分類 Typological Classification : 言語をある基準に基づいて分類

2.2.1 形態的特徴による類型(アウグスト・シュレーゲル 1767-1845)

A 英語：「分析的言語」(analytic language)

「屈折言語」(inflectional language)の一種であるが、屈折変化があまり豊富ではなく、文法関係を示すために語順にも頼らなければならないタイプ (cf. 「相互的言語」(synthetic language) ラテン語、ギリシャ語、アラビア語などと対照的)

B 中国語：「孤立語」(isolating language)

名詞や述語が、時制・人称・格・数などの文法範疇によって語形変化を起こさない。

C 日本語：「膠着語」(agglutinative language)

文法的形態素が語彙的形態素に接辞としてつく。

(1) 各言語の膠着語性、孤立語性、屈折語性：その混合性

(膠着語性)

(孤立語性)

(屈折語性)

a) 数(Number)

boys

小孩子們

xiaohaizimen

子供達、彼ら、先生方

悪餓鬼ども、

child-children, man-men,

(膠着語性)

(孤立語性)

(屈折語性)

b) テンス・アスペクト

travels/ traveled

玩/玩了

wan/ wanle

旅行する/旅行した

唱/ 唱了 飛/ 飛了

sing-sang, fly-flew

chan, chanle, fei, feile

歌う、歌った、飛ぶ、飛んだ

c) 比較級

pretty/ prettier

beautiful/ more beautiful

(一音節形容詞の場合)

(二音節形容詞の場合)

漂亮 / 漂亮些

漂亮 / 更加漂亮

piaolian/ piaoliangxie

piaoliang/ gengjiapiaoliang

2.2.2 語順 (word order) による類型 (Greenberg, Joseph H., 1963)

(2) 世界の言語の語順 (Greenberg 1963)

- SOV: 約 50% を占める多数派、日本語・朝鮮語・トルコ語・ヒンディー語
- SVO: 約 40% を占める、英語、イタリア語、中国語、スワヒリ語等
- VSO: 約 10% を占める、アラビア語、ヘブライ語、ウェールズ語、タガログ語等
- 他に、理論的には、VOS, OVS, OSV が可能な語順であるが、実際には、目的語が主語に先行する語順をとる言語はほとんどみられない。

(3) 普遍原則 1 (Greenberg 1963 : 77)

名詞的主語と目的語をそなえた平叙文では、優勢な語順はほとんどの場合、主語が目的語に先行する。

(4) 主語と目的語の非対照性 (Subject-Object Asymmetry)

主語と目的語は、多くの言語現象において、異なる振る舞いをする。

e.g. 日本語と中国語において、再帰代名詞 (reflexives) 「自分」「自己 ziji」の先行詞 (antecedent) は主語でなければならない。

(5) a. 太郎は花子に自分のことを話した。

- b. 張三 跟 李四 講 了 自己 的 故事
Zangsan gen Lisi jiang le ziji de gushu.
Zangsan ~に Lisi 話す 完了 自分 属格 話

3. 形態論

3.1 右側主要部の法則 (Williams 1981)

語の品詞を決定しているのは、語の右側の部分である。

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| (1) publ-ic-ity | (9) 甘酸っぱい+さ |
| (2) pur-if-ic-(at)-ion | (10) 苔+むす |
| (3) hand-ful | (a) 胖 pang (adj.) +子 zi |
| (4) kind-ly | (b) 尖 jian (adj.) +儿 er |
| (5) ir-reular-ity | (c) 蓋 gai (v.) +儿 er |
| (6) im-possiblil-ity | |
| (7) in-fin-ity | |
| (8) un-gramm-(tic)-al-ity | |

affix : 接辞

prefix : 接頭辞

infix : 接中辞

suffix : 接尾辞

☞ the right head rule is restricted to morphology

3.2 借用 (borrowing)

翻訳借用 (カルク、calque)

テレビ	電視 dianshi
ポケモン	口袋怪獸 koudaiguaishou
パソコン	電腦 diannao
ソフト	軟件 ruanjian
ハイティー	下午茶 xiawucha

3.3 「非対格性」(Unaccusativity)と複合語

非対格性 : 二種類の自動詞

非能格動詞 (unergative verb)

動作主が意志をもって行う動作

e.g. 泳ぐ、走る、歩く

非対格動詞 (unaccusative verb)

自然の出来事の発生や事物の状態変化

e.g. 降る、落ちる、開く、変わる

- 1) 非能格動詞と主語が結びついた複合語 限られた数

犬掻き、ウサギ飛び、duckwalk (アヒルのようにそとまたで歩く) jaywalk

(からすが歩く→信号無視横断)、catcall(やじ)等

2) 非対格動詞と主語が結びついた複合語 非常に多数→他動詞の目的語との複合語と類似

雨降り、地揺れ、電池切れ、夜明け、夕暮れ、値上がり、幕開け
rainfall, landslide, earthquake, daybreak, sunrise, sunset, toothache
地震、頭疼、落石、落雷、日没、開花、出水

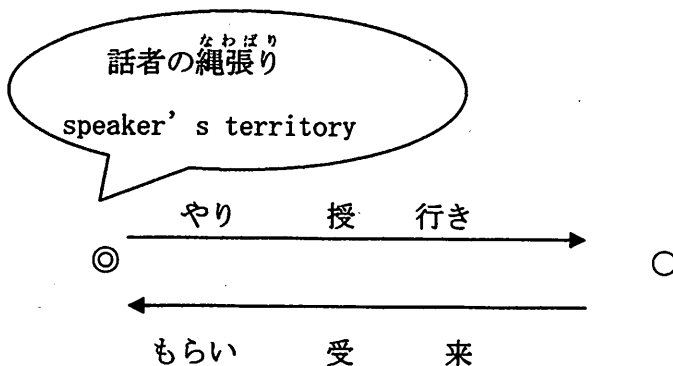
☆神隠し、虫食い [NP S+Vt] はごくごくわずか

3.4 並列複合語 (dvandva)

Me-first or not?

あちこち	here and there	這裡那裡	zheli nali
あれこれ	this and that	這個那個	zhege nage
売り買い	buying and selling	買賣	maimai
行き来	come and go	來回	laihui
出し入れ	in and out	進出	jinchu

日本語では、「ダイクシス」(deixis; 直示、話者基準用法)が関わる並列複合語の場合、話者から遠いもの、遠ざかるものを先におく。英語と中国語はその反対。



cf. 直示 deixis とは (テキスト p283)

「話し手の位置を中心としてすべての言語空間の距離が測定され、話し手の発話時を基準にして言語的時間が認定される。つまり、話し手は、‘言葉の宇宙の中心である’、そして言語座標の原点である。」

人称	一人称	わたくし
場所	指示詞	ここ (話し手の縄張り内)
時制	発話時	今